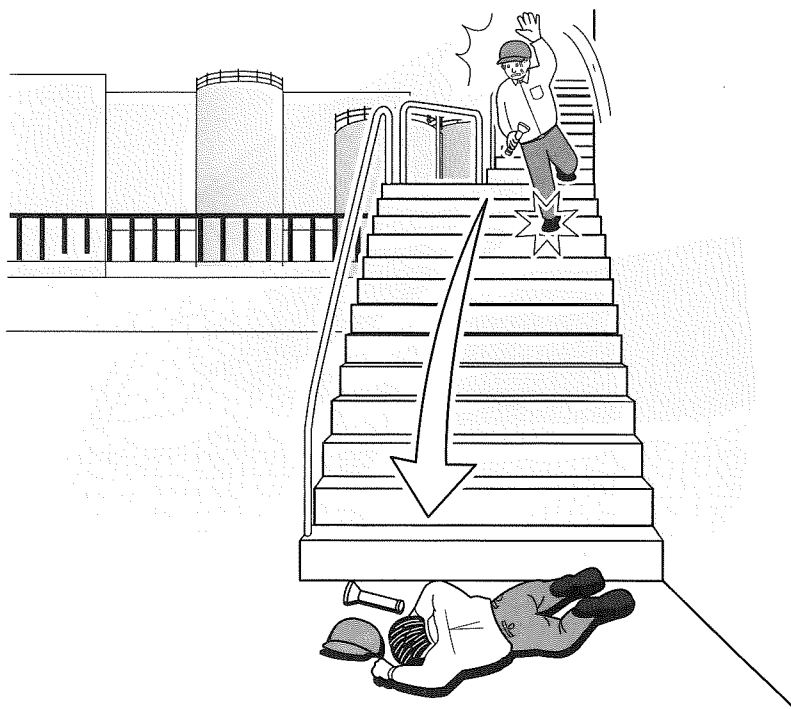


警備員が夜間巡回中、階段で転落して死亡

手摺りがない側を降りていた



《災害のあらまし》派遣会社の警備社員（男性64歳・当該工場の警備業務6カ月）が午前4時頃、工場建屋の巡視で建物の外階段を降りていたところ、段差を踏み外して階段を転落し、頭部を強打して失神しました。7時30分頃出勤してきた社員に見えられ、救急車で病院に収容されましたが、脳挫傷により死亡しました。

《災害の主な原因》

- ① 階段の外側には手摺りが設けられていたが、建物側には設置されていなかったこと。
- ② 被災者は「左側通行」で巡視を行っており、階段を降りる際も手摺りのない左側を降りていたこと。

③ 当該階段には照明は設けられていたが、電灯が一部損傷していて足元が暗かったこと。

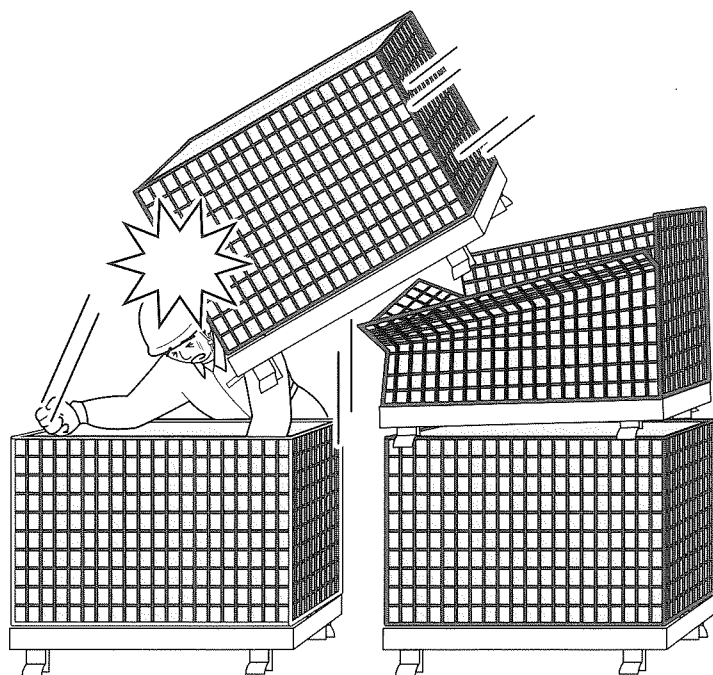
④ 夜間、緊急事態が発生した際の通報等の態勢が整えられていなかったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

- ① 階段の状態、利用者の状況等を考慮して建物側にも手摺りを設置する。
- ② 夜間の照明については、必要な照明と照度が保たれているか、などを定期的に点検を行うって整備する。
- ③ 夜間、事業場並びに警備員等に緊急事態が生じた場合の通報態勢等を整備する。
- ④ 派遣会社から派遣された警備員等に対しても、事業所に必要な安全衛生教育を実施するよう計画し、実施する、など。

積み上げられたコンテナが崩壊して死亡

リスクアセスメントが実施されていなかった



《災害のあらまし》被災者（男性45歳・製品の品質検査担当）は、工場の製品倉庫に3段に積み上げられた金属製コンテナ（それぞれの重量は約1t）の付近で、コンテナに入られた製品の検品作業を行っていたところ、突然脇の2段目のコンテナの枠が変形し、3段目のコンテナが被災者の頭部に落下して死亡したものです。

《災害の主な原因》

①重量物（コンテナ）が危険な状態で積み上げられていたこと。

②崩壊を防止するための対策が講じられていなかったこと。

③積み上げられた重量物の付近で作業を行っていたこと。

④コンテナ等の取扱基準が明確に定められていなかったこと。

⑤コンテナ等重量物を取り扱うリスクアセスメントが実施されていなかったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

①重量物を積み上げる必要がある場合は、崩壊を防止するための対策を講じること。

②重量物が積み上げられた箇所への立ち入りを禁止し、その場所での作業を行わないこと。

③コンテナ等の修理や廃棄等に係る基準及び点検担当者を明確に定め、定期的に点検を行うこと。

④重量物を取り扱う作業のリスクアセスメントを実施し、必要な措置を講ずる、など。

高温環境下の運搬作業で熱中症

作業強度が高いと高温でなくとも危険



《災害のあらまし》夏休みで操業を停止している工場建物の改修工事現場で、工事会社の臨時作業員A（男性・55歳）が、モルタルを2つのバケツに約15kgずつ入れて1階から3階の工事現場まで運搬する作業を行っていた際、階段を上る途中で気分が悪くなつて休止していたところ、気を失って倒れました。Aが遅いので様子を見

に降りてきた同僚作業者に発見され、救急車で病院に収容されました。

《災害の主な原因》

① Aは気温30℃、湿度60%、無風の屋外環境の中で、作業強度が高い運搬作業を2時間以上続けていたこと。

② Aは就業2日目で、高温高湿の中での作業に慣れていなかったこと。

③ 監督者を始め、当該工事の作業者は熱中症の知識がなく、Aも熱中症の自覚症状等の知識が無かったこと、など。

《同種災害の防止対策例》

①それほど高温でなくても、作業強度が高い作業では人によって熱中症を起こすことがあるので、休憩や水分の補給を十分に行う。

②高温作業に慣れない者に対しては、徐々に環境に慣れさせ、作業状態を監視し指導する。

③作業者全員に対して熱中症予防、救急処置等についての教育を行う。

④厚生労働省「職場における熱中症予防基本対策要綱」を参照して対策等を行う、など。

事故・災害事例から

労災・事故速報

(最近の新聞等から)

- ・配管工事中に爆発事故、4人死傷。6月29日午後、新潟県弥彦村の文化会館で、地下空間で空調の配管工事、トイレの改修工事中に爆発事故が発生。30代男性作業員1人が死亡、他男性作業員3人が重軽傷。(テレビ新潟)
- ・神社の祭り準備中、脚立から転落して重体。6月28日午後、兵庫県姫路市の神社で、厄除け祈願の祭りの「芽の輪」を設置する準備作業をしていた70代男性作業員が、乗っていた脚立から転落し、縁石で頭を強打して重体。(産経新聞)
- ・資材搬入作業中の従業員が倒れて意識不明。6月28日午前、兵庫県尼崎市の高圧ガス容器製造工場で、屋外の資材置き場から資材を搬入していた60代男性作業員が、資材置き場で骨折して意識不明の状態で見発見。(神戸新聞)
- ・大型ダンプカー2台に挟まれ死亡。6月27日正午前、北海道美唄市で、大型ダンプカーを運転する30代男性の運転手が、別の大型ダンプカーの後ろに駐車して降りたところ、止めた車が動き出し、2台の間に挟まれ死亡。(HBC北海道放送)
- ・重機を運転中に転落、轢かれて死亡。6月22日午前、千葉県市原市の石灰等の製造工場で、60代男性作業員が傾斜のある施設で重機(ホイールローダー)を運転中、重機から転落し轢かれて死亡。(千葉日報)
- ・大型船のタラップごと転落して4人が死傷。6月21日午後、広島県福山市の造船所で、大型船に取り付けたタラップで作業していた作業員4人がタラップごと墜落。50代男性作業員が死亡、他重傷2人、軽傷1人。(RCC中国放送)
- ・トラックの荷台から転落して死亡。6月21日午前、新潟県新潟市の食品製造工場で、トラックの荷台から荷物を下ろす作業をしていた60代男性作業員が、荷台から転落して死亡。(新潟日報)
- ・壁の修繕中、脚立から転落して死亡。6月18日午後、愛知県半田市の旧酒造会社の建物を活用した複合施設で、壁の修繕工事をしていた60代男性作業員が、作業中に脚立から足を踏み外して転落、死亡。(中日新聞)
- ・伐採した木の下敷きで死亡。6月18日午後、宮城県気仙沼市の山林で、マツの枯れ木を伐採していた50代男性作業員が、倒れてきた木の下敷きになり死亡。一緒に作業をしていた他の50代男性も左足骨折の重傷。(河北新報)
- ・生コン工場で車のタンク破裂。6月18日午後、鹿児島県薩摩川内市の生コンクリート工場で、粉状のセメントを運搬するパラセメント車のタンク部分が破裂し、セメント納入業者の60代男性が死亡。(南日本新聞)
- ・修理中の屋根から転落し意識不明。6月16日午前、石川県七尾市の能登半島地震の復旧作業中の住宅で、壊れた屋根の修理をしていた60代男性作業員が約3m下の用水路に転落し意識不明。熱中症でめまいの可能性。(北国新聞)
- ・草刈中にトラクターが横転し、作業員が死亡。6月16日午前、三重県亀山市の農道で草刈作業をしていた60代男性作業員が、横転して2m下の山林に転落したトラクターの下敷きになり死亡。(中日新聞)
- ・撤去中の電柱が倒れ、作業員死亡。6月16日午前、兵庫県市川町のスーパー跡地で、撤去中の電柱が根本から倒れ、電柱に登って撤去作業をしていた30代男性作業員が転落して死亡。(神戸新聞)
- ・フォークリフトの下敷き、死亡。6月12日午後、兵庫県作用町の養鶏場で、フォークリフトでおがくずを鶏舎に運ぶ作業をしていた50代男性作業員が、操作を誤り転倒したフォークリフトの下敷きになり死亡。(神戸新聞)
- ・鉄骨が頭部に落下し死亡。6月11日午前、岐阜県各務原市金属団地の圧力容器製造工場で、鉄パイプなどを収納するための棚を解体していた50代男性作業員の頭に、落下してきた鉄骨の柱が当たって死亡。(中日新聞)
- ・倒れてきた鉄骨に挟まれ死亡。6月11日午前、愛知県豊橋市の鉄骨製造会社で、鉄骨のサビ取り作業をしていた70代男性作業員が、倒れてきた鉄骨に体を挟まれて骨盤や肋骨を折り病院搬送され、のちに死亡。(中日新聞)
- ・清掃作業中高さ5mから転落、死亡。6月10日午後、北海道石狩市の小麦乾燥調製施設で、小麦を保管する貯留ビンの上で清掃作業をしていた60代男性作業員が高さ約5mからビンの中に転落して死亡。(STVニュース)
- ・造船所で船が爆発、7人がケガ。6月6日午後、大阪府大阪市の造船所で、船が爆発して炎上。作業員ら7人がケガ。溶接作業の火花が灯油を染み込ませた布に引火の可能性。(共同通信)
- ・崩落したのり面復旧工事中に落石、作業員が負傷。6月6日午前、静岡県静岡市の林道で、一部崩落したのり面の復旧工事をしていた男性作業員3人が落石に当たって負傷。(静岡新聞)
- ・伐採した木の下敷きになり死亡。6月4日午後、埼玉県嵐山町の河川敷で、樹木の伐採作業をしていた50代男性作業員が、伐採して倒れてきた木(直径約1m、高さ約14m)の下敷きになり死亡。(埼玉新聞)
- ・屋根で洗浄作業中に転落し死亡。6月4日午後、埼玉県加須市の菓子メーカー工場で、屋根に設置する空調設備の室外機を洗浄していた20代男性作業員が、約6.7m下の地面に転落して死亡。(埼玉新聞)
- ・体にロープが絡まり海に転落し漁師が死亡。6月4日午前、青森県大間町の漁港から約2kmの海上で、ウニ漁をしていた70代男性漁師が、ウニ籠の投入作業中にロープが体に絡まり、海に転落して死亡。(東奥日報)
- ・落下してきたダクトに両足をぶつけて重傷。5月31日午後、群馬県太田市のリサイクル工場で、5階建ての足場の上でダクトを設置中、仮止めたダクトの一部が落下し、20代男性の技能実習生が両足をぶつけて骨折の重傷。(上毛新聞)
- ・清掃工場で破砕機が爆発、作業員がケガ。5月31日午前、静岡県沼津市の市清掃工場で、埋め立てゴミを砕く破砕機が稼働中に爆発、出火し、機械を運転作業中の50代男性作業員がケガ。(静岡新聞)